

状況に応じた対応をしてまいります。

H30.9.21

第3回定例会

決算等審査特別委員会(第3分科会)

問 今、本市では、台湾等からのインバウンド誘致に取り組んでおりますが、国内観光客、特に西日本からの誘客も重要であります。そのために、例えば仙台空港から国内線が就航している都市やその周辺の政令市と連携して、それぞれの観光地をホームページ等を活用してお互いにPRしあうことは、相互の誘客に有効だと思いますが、如何でしょうか。

答 文化観光局長 このような路線就航先の都市と連携してホームページ等を活用して相互にプロモーションを行う取り組みは、定期便の利用促進と路線の維持につながることが期待できますので、今後とも関係機関とともに検討してまいりたい。



H30.10.21 土井聰翠先生の作詞した校歌を歌う会に実行委員長として参加

H30.10.1

第3回定例会

決算等審査特別委員会(全体会)

問 仙台港は未だ水先人がその業務を行っており、取り扱いコンテナ増に伴い入港船舶が増えているにも関わらず、安全航行の対策が全くなされていない状況であります。港湾振興の関係者や宮城県がポートラジオ導入により、この

向け、本市がこれまで集約してきた様々な企業へのアンケート調査の結果等の情報を、県と仙台国際空港㈱に提供するなど積極的に関わっていくべきと考えますが、如何でしょうか。

答 産業振興課長 宮城県の担当部署と仙台国際空港㈱にお伺いし、これまで本市が取り組んできた地元企業の海外輸出展開支援の動きやそういった企業の声などを情報提供するとともに、どのような動きが将来の国際貨物の増加につながるのか意見交換などもしっかりと重ねて今後の動きに生かしていくたい。



H30.10.22 防災・減災推進調査

特別委員長として、委員会に西日本豪雨被災地の総社市片岡市長を招聘

H30.10.1

第3回定例会

決算等審査特別委員会(全体会)

問 仙台港は未だ水先人がその業務を行っており、取り扱いコンテナ増に伴い入港船舶が増えているにも関わらず、安全航行の対策が全くなされていない状況であります。港湾振興の関係者や宮城県がポートラジオ導入により、この

解消に取り組もうという姿勢を示しておりますが、安全対策に関わることなので、是非本市も積極的に関わり、導入に際しては、本市も応分の負担をすべきと思いますが、如何でしょうか。

答 政策企画部長 ポートラジオに係る費用負担につきまして、他の主要港湾の事例を見ますと、港湾管理者である自治体が単独で運用している事例もありますが、多くは港湾管理者と関係事業者が費用を按分して運用しているところでございます。仙台港につきましては、その構造や取扱量が増えている実態から、ポートラジオの導入は望ましいものと認識しており、現在、港湾管理者である宮城県と関係事業者との間で行なわれている検討・協議の状況を注視してまいりたい。



H30.12.8 西公園
キャンドルライトファンタジー
実行委員として参加



H30.12.16 青葉区少年野球駅伝
マラソン大会にて

西沢ひろふみ市議会レポート

発行所 西沢ひろふみ事務所 〒980-0871 仙台市青葉区八幡5-6-1 電話: 022-717-6340



H30.6.19 第2回定例会
一般質問

市民の皆様へ

厳しい寒さが続いておりますが、皆様にはお元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、常日頃より私の活動に特段のご理解・ご支援を賜りますことに心から感謝申し上げます。

さて、本年は平成最後そして、5月1日からは新しい元号がスタートする、わが国にとって大きな転換期を迎える年であります。その意味で、今後もしっかりと将来を見据えて私のスタイルである「ともに考え、ともに行動し、ともに実現を」を基本に、本市の今日的課題に真摯に取り組んで参る所存でございます。

また、この度の市政報告では、平成30年度前半の私の活動の一端をまとめましたので、ご一読の上ご意見等賜れば幸いに存じます。

今後とも一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。
平成31年2月吉日

西沢ひろふみ拝

安全で安心な
まちの実現に！

H30.6.19
第3回定例会
一般質問

問 少子高齢化が進行する中で、若者世代の労働人口が年々減少していくことが確実視されていることを踏まえれば、高齢者の就労は、我が国の経済を支える貴重な労働力の側面からも大いに期待がされております。静岡市の調査結果では、企業側がフルタイムでの雇用の希望が多い一方、高齢者は短時間、短日数での就労を希望しているなどのミスマッチがあり、本市においても、企業側に

対し、このような高齢者の望む就労条件等についての理解を促し、円滑な雇用に向けた助言をするなど、高齢者のニーズや事情を踏まえた更なる就労促進の取り組みを進めていく必要があると考えますが、如何でしょうか。

答 市長 少子高齢化が一層進行し、生産年齢人口が減少していくこれからの社会を見据えますと、私といたしましては、働く意欲のある高齢の方に、その知識や経験を生かして、社会を支える一員として御活躍をいただきたいと考えております。

新たな施策の展開に当たりましては、高齢者に適した就労環境に向けた事業者の理解や体制づくりも鍵になりますことから、経済団体と意見交換するなど多角的な視点や内容を見定めて、効果的な事業となるよう鋭意取り組んでまいります。



H30.4.14 仙台を舞台とするバレーボール漫画
ハイキュー!! 展(仙台市体育馆)

西沢ひろふみ事務所

H30.6.19

第3回定例会

一般質問

問 本市の病児、病後児保育事業は事業者への委託事業で、各区一ヶ所と中心部に一ヶ所の計6ヶ所で実施しており、昨年の利用実績は2400件余りありました。

この事業を利用するには、児童を安全にお預かりするため実施施設に登録が必要あります。本市では、この事業のパンフレットを区役所で配布したり、各保育施設から周知をしていますが、私は、特に毎年新しく保護者になる方をはじめとして、必要な時に必要な情報を確実に行き渡らせるためにも、三、四ヶ月児育児教室や一歳六ヶ月児健康診査の場を利用するなどより丁寧な情報発信に努めるべきと考えますが、如何でしょうか。

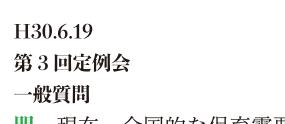
答 子供未来局長 本市では、これまで各種媒体を活用した制度周知を行ってまいりました。実施施設による周知の取り組みもあり、毎年一定数の利用がなされているものと認識しております。より多くの保護者の方々に知っていただきため、御提案の三、四ヶ月児育児教室や一歳六ヶ月児健康診査の場を活用し、事業周知のポスターを掲示するなど、直接情報を届けすることができるよう、なお一層工夫してまいりたいと存じます。



H30.7.4 仙台塩釜港コンテナヤード視察



H30.8.2 台湾観光局PRイベント(仙台駅)



卒予定者を含む保育士の人材確保に有効と考えており、今後とも積極的に実施してまいります。
本市としても、独自支援の実施効果について保育事業者の方々と意見交換を行うなどして、引き続き就労定着につながる取り組みを進めてまいりたい。



H30.8.7 宮城県後期高齢者医療広域連合議会・議長として



H30.8.10 西日本豪雨被災地である岡山県総社市視察①



H30.8.10 西日本豪雨被災地である岡山県総社市視察②

岡山県総社市視察は新

H30.6.19

第3回定例会

一般質問

問 民間シンクタンクによると、2030年には全国的に3件に1軒が空き家になるとされております。

この空き家対策には、周囲に悪影響を及ぼす管理不全な空き家の解消だけではなく、空き家の発生抑制の取り組みを同時に進めが必要と考えます。

発生抑制に向け、本市も今年4月に民間団体とタッグを組んで利活用促進に関する相談制度を創設しました。今後はそのさらなる促進に向け、どのように取り組んでいかれるのか、伺います。

答 都市整備局長 既存住宅の利活用に関する相談制度について運用上の課題整理と、更なる制度周知に向けた検討を進め、制度の充実を図ってまいりたい。さらに、関係団体及び府内他部局と連携して、今後空き家の増加が予想される地域に赴き、セミナーの開催により所有者の利活用に関する意識の向上を図るとともに、個別相談会を開催し、所有者個々の事情に応じた利活用手法を提案するなど、空き家の発生抑制に向けた取り組みを進めてまいりたい。



H30.9.29 リトル台湾(勾当台市民広場)



H30.9.29 リトル台湾にて台湾駐日代表処副代表とともに(勾当台市民広場)



H30.10.1 決算等監査特別委員会

H30.9.19

第3回定例会

決算等審査特別委員会(第3分科会)

問 街中では、集積所の容量を超えて防護ネットからごみ袋がはみ出し、それをカラスがまき散らしている場所が散見されます。また、歩道上に設置された集積所では、車道を歩かざるを得ないことや、そのネットに引っかかって転倒されたケースもあります。これらの現状について早期の改善が必要ではないでしょうか。

答 家庭ごみ減量課長 ご案内の事例のように、地域によって、ごみ集積所1か所当たりの利用者数が増加したり、減少したりということはあると考えております。

ごみ出しのマナーが守られず、町内会の役員さんなどがご苦労なさっている場合なども含め、ごみに関する困りごとにについては、環境事業所でご相談を受けており、職員が現地に出向いて一緒に解決策を考えるなど、個別に対応をしております。

今後とも、適切な分別とごみ排出がなされるよう、地域の